

気候変動の影響と 適応を考えよう！

令和6(2024)年12月

講座の依頼
受付中

栃木県保健環境センターでは、県民の皆さまが、気候変動による影響や適応の必要性を知り、行動につなげることを目的として、体験学習講座を提供しています。講座を活用し、気候変動への適応について考えてみませんか。

内容の一部を紹介

サーモグラフィーを使って「暑さ対策」を考える

日傘の効果を目で見て実感



熱源となるライトを太陽に見立て、日傘の有無による温度差を観察し、日傘が暑さ対策になることを体験。

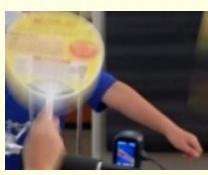


日傘の実験

汗が体温を下げる効果を体感



乾いた腕、濡らした腕、さらに風を当てた時の腕の温度変化を観察し、汗が乾くことで体の温度が下がることを体験。



気候変動を数字で見る

模型実験で強い雨のメカニズムを体験 自分でできる「災害への備え」を考える

降雨が変化していることを模型実験で体験



大きな雲（太管）と小さな雲（細管）に見立てた「しおどし模型」等で、温暖化により大きな雲ができやすいために短時間強雨が増え、災害のリスクが高まっていることを実感。



しおどし模型に注水し、雲の違いによる雨の回数と量を観察



影響はすでに現れている



50年前と近年の「桜の開花日」を比較し、気候変動の影響は身近にあることを理解。

将来は、より暑さが厳しくなる可能性がある

真夏日
42日増加

2000年頃

2100年頃



栃木県が実施した2100年の気候予測データから将来は更に厳しくなると予測されていることを知る。

※図は、今後、追加的な温室効果ガスの排出抑制対策を行わない場合の予測



小学生から大人まで楽しく学べる内容です。グループ単位で、お申込みください。
みなさんの会場にも出向きます（出前講座）。いろいろな機会に御活用ください。

- 例えば… ◉学校の授業 ◉PTAの研修会 ◉子ども会
- ◉企業の社員研修や福利厚生事業 ◉地域の勉強会

講座の内容や申込み方法は 保健環境センターHPをご覧ください



栃木県気候変動適応センター【事務局：栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3187】

気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください。

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

HP

X
(旧 Twitter)